

目標の設定及び達成に向けた考え方について(区作成)

【此花区】(受託者:大阪市コミュニティ協会)

区の考え方等	
1 地域課題・ニーズ等の状況について	地域や社会における課題の解決に向けた議論はされるようになってきたが、事業化するまでには至っていない。 ・湾岸地域であることから大規模災害(津波対策等)への対策が大きな地域課題。また、65歳以上の高齢者の約6割が独居世帯であり、災害時の孤立化などが懸念される。 ・地域活動協議会の存在や活動が、まだ住民に十分認識されていないなか、活動の担い手の高齢化が進み、若い担い手が不足している。
2 当事業によりめざす状態	地域や社会における課題の解決やニーズへの対応に向けた様々な取り組みを、継続的な活動とし、地域の活性化につなげていくために、様々な人材が集まり、人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され、循環する地域社会をめざす。 隣近所での「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」といった身近な地域の中で生活課題等の解決に取り組むなど、豊かなコミュニティを醸成し、大規模災害をはじめ様々なリスクに耐え得る復元力の高い強靱な地域社会づくりをめざす。 【現在の状況】 ・達成状況:8割程度達成 ・説明:第1ステージは全項目概ね(○を含め)達成。第2ステージは平成28年度達成項目10項目中2項目達成。7項目は概ね(○を含め)達成。
3 当事業の目標	
(1) 中長期の目標	・全地域で地区防災計画を策定。 全地域で津波避難訓練・避難所開設訓練の実施。 【現在の状況】 地区防災計画策定は10地区中0地区。津波避難訓練は8地区、避難所開設訓練は3地区。完了は1地区。 ・全地活協で年1回以上広報紙を発行 【現在の状況】 ・8地域で発行予定。残りの1地域についても引き続き支援していく。 ・様々な広報媒体を使って、地域活動を周知。 【現在の状況】 ・2地域がWEB新聞とフェイスブックを開設しているが、他地域は紙媒体が中心。
(2) 平成28年度目標	
ア「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」	形成済の全地域活動協議会について、ステージ1の項目を全て達成の他、ステージ2の各項目のうち、10項目を達成 【現在の状況】 ・第1ステージ 18/22項目達成。残りも概ね順調に取組中。第2ステージ 2/10項目達成。その他も1項目を除き、概ね(○を含め)達成。
イ 利用者アンケート調査	
(ア) 自律的な地域運営	校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている割合 50%以上 【現在の状況】 まちづくりセンターの支援により、皆さんの地域において、支援を受ける前よりも自律的な地域運営に取り組んでいると思いますか。(問4) 72.4%(①そう思う 44.9% + ②ややそう思う 27.5%)
(イ) 中間支援組織の活用	地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合 70%以上 【現在の状況】 まちづくりセンターの支援は、地域の皆さんの活動に役に立ちましたか。(問1) 91.8%(①そう思う 55.7% + ②ややそう思う 36.1%)

		区の考え方等	
	ウ 区独自 目標(仕様 書記載)	_____	【現在の状況】 _____
		_____	【現在の状況】 _____
	エ 区独自 目標(協議 により設定)	_____	【現在の状況】 _____
		_____	【現在の状況】 _____
4 地域活動協議 会の状況につい ての分析 上記2・3の【現在 の状況】及び評価 資料等を踏まえ分 析		形成後4年が経過する中で、組織運営については一定軌道に乗っているが、地域役員の高齢化と活動の中心を担っている町会の後継者不足が深刻な課題となっている。地域課題解決策の検討やそのための事業の企画・改善の話し合いについては、地域較差はあるものの着実にすすんではいる。 コミュニティビジネスの検討や、法人化に向けた取り組み等については、地域住民にボランティア意識が根強いことなどから、依然として進んでおらず、現在までに至っている。	
5 当事業による 支援の方針		これまでの地域活動をベースに、地域住民が地域の課題を具体的に把握し、解決に向けた取組を行っていただけるよう支援していく。 _____ _____ _____	
6 目標達成に向 けた戦略		画一的な地域支援ではなく、中間支援組織と連携して地域実情に沿った支援を行っていくことで、各項目の目標を達成する。 _____ _____ _____	